

令和3年度 第2回豊橋市総合教育会議議事録要録

令和3年8月18日 開 催

豊橋市教育委員会

第1回 総合教育会議	
日時	令和3年8月18日(水) 午後3時00分～4時00分
場所	市役所東館4階 政策会議室
構成員	浅井 由崇 市長 山西 正泰 教育長 中島 美奈子 教育委員 渡辺 嘉郎 教育委員 内浦 有美 教育委員 西島 豊 教育委員(欠席)
事務局	杉浦 康夫 副市長 種井 直樹 教育部長 朽名 栄治 財務部長 石川 和志 生涯学習課長 浅倉 淳志 教育政策課長 浅野 博久 財政課長 ほか 7名
その他	傍聴人 3名

議事日程

協議事項

- 1 野外教育センター・少年自然の家の方向性について

その他

- 1 今後の協議事項について

連絡事項

次回開催日程 令和3年10月5日(火) 15:30～

(教育部長)

ただいまから令和3年度第2回豊橋市総合教育会議を開催させていただきます。協議事項は、野外教育センター・少年自然の家の方向性についてです。

協議事項

1 野外教育センター・少年自然の家の方向性について

■生涯学習課長 協議事項について資料説明

(教育部長)

それでは、ただいまの説明に対するご意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願いたします。

(渡辺委員)

沼津市では、公園施設の一部のみを民間事業者に許可しているのはなぜでしょうか。

(生涯学習課長)

この公園の敷地面積が広大なため、民間事業者のみだけでは管理しきれない可能性があったのではないかと推測します。

(中島委員)

都市公園法第5条に施設の設置許可と管理許可が「10年」とありますが、なぜなのでしょう。

(生涯学習課長)

許可できる最長の期間が10年となっています。継続となった場合には、許可期間を更新することが可能です。

(中島委員)

わかりました。10年で施設が終わってしまうということではないということですね。

(渡辺委員)

サウンディング調査を実施した事業者からの具体的なアイデアは出ているのですか。

(生涯学習課長)

現状ありません。事業者には、野外教育センターも含めた大きな方向性を示してもらいました。

(渡辺委員)

今のところ、豊橋市内で手を挙げそうな事業者はあるでしょうか。

(生涯学習課長)

現地の視察に来ている事業者はいくつかあります。

(渡辺委員)

サイクリングロードの整備など、国などとコラボすることでよりよいものができる可能性があると思いますが、試みてはどうですか。

(生涯学習課長)

サイクリングロードは整備面での課題が多いため、今のところ考えていませんが、民間事業者の方の声の中で、「自転車」がひとつのキーワードとなっており、例えば自転車に乗って利用するグランピングなどがあれば、自転車の利用が増えるかもしれません。

(渡辺委員)

宿泊できる場所ができると渥美半島全体を活用できるようになります。そういった観点で国や県と連携できるとよいと思います。

(中島委員)

この他にこの都市公園法第5条を利用した施設はあるのですか。この手法での公園が全国的に増えていくことになるのでしょうか。

(生涯学習課長)

現在、沼津市のみになります。そのため、全国的に多くの視察がきており、参考にする市町村は多いと思われます。

(教育長)

仮に集客ができない場合には、撤退する可能性はあるのですか。

(生涯学習課長)

市は許可するだけです。想定はしていませんが有り得ます。そうならないようにするためには、事業者の力量にあった提案ができる仕組みづくりが必要になると考えます。

(教育長)

例えば、ある事業者が改修した後に撤退した場合には、改修部分はそのまま使えるのですか。

(生涯学習課長)

原状復帰が原則となります。

(中島委員)

集客できるとしたときに、施設までの道で一本道になるところが少し心配になりますが、道の整備等はされるのですか。

(生涯学習課長)

必要に応じて、行政が整備することになります。

(渡辺委員)

以前は海へつながる道がありましたが、現在は通行止めとなっています。なぜ使えないのでしょうか。

(生涯学習課長)

あそこは土砂災害の区域になっているわけではありませんので、安全上は使えるのですが、実際のところ、すぐ近くに崖があることや主に子どもが使うことから危ないという声があり、閉じることになったと聞いております。現在は、草木が茂っておりますので、整備すれば利用できる状態です。

(渡辺委員)

いい道なので、施設の利点の一つだと思います。

(中島委員)

野外教育センターも併せて充実していくといいです。

(渡辺委員)

野外教育センターも老朽化し、薄暗い雰囲気もあるため、リノベーションが必要だと思います。子どもたちが使うことを考えてよく検討しなければいけません。

(生涯学習課長)

学校などの意見も聞きながら、改善していきたいと思います。安全面の整備を進めながら、野外教育センターの運営の仕方についても考えていきたいと思います。

(教育長)

これで民間事業者が管理するようになった場合、市が利用するときには、逆に借りる形で使用料がかかることになるのでしょうか。

(生涯学習課長)

あくまでも公園の所有者は市であり、無料で利用できるケースはこれから検討が必要などころです。

(渡辺委員)

今回の話は、場所や施設の良いところを引き出せる事業者がやってくれるのであればとても魅力的です。

さっきも言ったとおり、渥美半島の観光の拠点となってほしいと思います。

(内浦委員)

事業者は全国から応募できるのですか。

(生涯学習課長)

できます。

(内浦委員)

教育長がおっしゃったように、運営がうまくいかなかった場合も考えると最初の条件付けを厳しくしなければいけません、そうすると手が挙がりにくくなるので難しいところでは。

私が知っている施設では、最初は盛り上がりつつも、運営が難しく中々続かないところが

多いように感じます。

市の総合的な観光プロモーション施設がないと思いますので、豊橋の魅力的な食べ物や伝統・文化、イベントなどを一泊二日で体験できるような施設があったらいいと思います。教育施設と連携して学ぶ機会があってもいいですし、若い人向けかシニア向けかなども提案事業者さんによるとは思いますが、何より、市民が主役になって楽しめる施設になってほしいと思います。

(市長)

お話にもありましたが、豊橋市がスポーツの拠点のエリアとなること、また、道の駅とどう連携していくかが重要になると考えます。ただし、スポーツだけで1年間通して盛り上げていくには厳しいため、内浦委員がおっしゃったように、観光コンベンション等とも連携しながら、1年間楽しめるもので豊橋が渥美半島の観光の拠点となるといいと考えています。

今回の施設が継続して付加価値のあるものとなっていくためには、要項づくりが肝になると認識しています。様々な課題がありますが、教育委員会や観光、スポーツ関係と連携しながら前に進めてまいりたいと思います。

連絡事項

- ・今後の協議事項
- ・次回開催日程 令和3年10月5日(火) 15:30～

(教育部長)

以上で、令和3年度第2回豊橋市総合教育会議を終了します。ありがとうございました。